



## 自然を大切に

ぼたる飛び交う中地区をめざす運動の会会長 森田 弘

昨年7月小山の「宝」である渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録され、「チョウヒ」をはじめとする絶滅危惧種を含むたくさんの動植物が生息する「自然の宝庫」となっています。小山市では、「ふゆみずたんぼ」を活用し「トキ・コウノトリの野生復帰」を目指しています。

一方、中地区においては、昭和初期ごろまで中地区を流れる巴波川「ぼたる橋」付近は、源氏ぼたるの名所でした。もう一度巴波川にぼたるを甦らせようと、平成13年に「ぼたる飛び交う中地区をめざす運動の会」が発足し、学校・PTA・自治会・中公民館・ボランティアをはじめ、中地区をあげて中小学校にぼたるのビオトープを作り、ぼたるが飛び交うようになりました。「ぼたるの里」中地区を目指し、巴波川にぼたるをもどす取り組みとして「ぼたる橋」上流側の清掃と「ぼたるの幼虫」「カワナナ」を中小児童といっしょに放流しています。

地域が1つになってこの活動を続けていくことで清流巴波川が甦り再びぼたるが飛び交う地域になることを願っています。

最後に、この活動を通して中小児童と一緒に自然環境の大切さを学び、実践していきたいと思えます。

皆様の御協力をお願い致します。

## みんなで田植え

中小学校長 谷田部 二三子

5月8日、真っ青に澄んだ空の下、田んぼ管理者の松本昭二様や「ぼたる飛び交う中地区をめざす運動の会」の皆様のご協力をいただき、田植えを行いました。

田植えの前に、増田博利様から、「昔は、大勢で力を合わせて田植えをした」というお話を伺いましたが、印のついた紐を移動させる人、苗を運ぶ人、田をならす人、そして植える人、まさに多くの人々で助け合いながらの作業でした。1年生は、始めのうちこそおそろおそろ田んぼに足を入れていましたが、すぐに泥の感触に馴染めたようで、6年生に教えてもらいながら楽しそうに植えていました。2～5年生も、それぞれペア学年で助け合っていました。

私も田植えは初めてでしたが、苗を植えるときの土の軟らかさ、暖かさが心地よだけでなく、「みんなで一緒にやれるということで、こんなに豊かな気持ちになれるんだ」と、感激していました。

中小学校の「田んぼの学校」が始まって12年目だそうですが、これまで続けてこられたのは、地域の皆様のおかげです。毎年毎年、子どもたちにこのような豊かな体験をさせていただき、本当にありがとうございます。

今日も、私たちが植えた苗が風に揺れています。「大きく育ててね」と、思わずつぶやく私です。

## 願いを込めて ～ みんなで田植え ～

5月8日、中小の田んぼで田植えをしました。初めてはだして感じた1年生の歓声があがります。上級生のお兄さんお姉さんに教わりながら上手に田植えができました。秋の収穫が楽しみです。

### たのしかったうえ 1年

たんぼは、あるくのがたいへんだったけど、たのしかったです。すこしむずかしかったけど、おねえさんや、おにいさんがてつだってくれたのでたのしかったです。



### ひさしぶりの田うえ 2年

5年生といっしょに田うえをしました。足がどろにうまって大へんだったけれど、ひさしぶりに田うえをしてとてもたのしかったです。

### 小学校最後の田植え 6年

今年は、中小学校最後の田植えで6回目でした。私は、1年生に6年間やってきたことを教えてあげました。1年生は少し大変そうだったけど植え方が上手でした。

昨年よりたくさんお米が取れてほしいし、最後の田植えでとても楽しくて良い思い出が出来たと思います。

### 願いを込めて田植え 3年

ぼくは、「おいしくなあれ」とねがいをしながら田植えをしました。いねかりの時は、金色のきれいないろになってほしいです。

## 一口メモ

### ～ホタルとその語源～

日本で、最も古い書物である「日本書紀」に螢という文字があります。今から1,200年以上も昔です。



最初にこの言葉の語源の起りを考えたのは江戸時代の学者貝原益軒です。

彼は「大和本草」の中で「ホ」は「火」のことで「タル」は「垂れる」という意味であり、ホタルが発光するさまを「火垂る」と表現しホタルになったと考えました。

同じ江戸時代の生物学者小野蘭山は「星が垂れている」とも考えられる。と述べています。

事実中国の大昔の詩にもホタルを星に見立てて歌ったものがあります。

## えっ、もう“子どもたちの螢”が！！

5月23日、「ぼたる編集会議」の後の夜8時、教頭先生から「子どもたちのミニビオトープで、ぼたるが光ってますよ」といわれ、理科室へ、そこで数匹のぼたるの光を発見しました。思わぬ光景に驚き、感動しました。児童の皆さんと担当の先生方のこれまでの御苦勞に感謝とお礼を申し上げます。中小の児童の活動は本当に素晴らしい！ ぼたるを観る会が楽しみです。

# 昨年度の“ほたるを観る会”から

# ほたる幼虫放流

今年もたくさん飛んでね！と願いを込めて

## 楽しかったほたるを観る会

4年

ビオトープにホタルがたくさん飛んでいました。きれいすぎと思いました。ちがう学校の人や中学生も見に来てくれて楽しかったです。

ぼくはホタルのおり紙をやったけれどむずかしかったです。作り方を教えてもらって作ることができました。

## 心に残ったほたるを観る会

5年

わたしは、去年のほたるを観る会で友達と行動し、遊んだり、ホタルを観たりしました。心のこったのは、6年生が書いた作文や絵です。とても上手な文字や絵なので心にのこりました。

今年もきれいなホタルがみればいいなと思いました。

ほたるの会役員さんのご自宅で育てた幼虫が2センチほどに大きくなって間もなく成虫になります。

新しい住処、ビオトープへ移す放流式が2月13日に行われました。

やがてビオトープから這い上がって土の中で「ほたる」になります。

私たちの願いがかなえられる”ほたるを観る会“6月7日が楽しみです。



ほたる飼育ボランティアさんを募集しています。

☆ 水槽・カワニナ・幼虫その他、会の方で用意します。

希望の方は御連絡ください。

連絡先 中小学校 … 38-0649

# ほたるを観る会

★ 6月7日(金)

☆ 6月8日(土)

式典 18:00~18:40

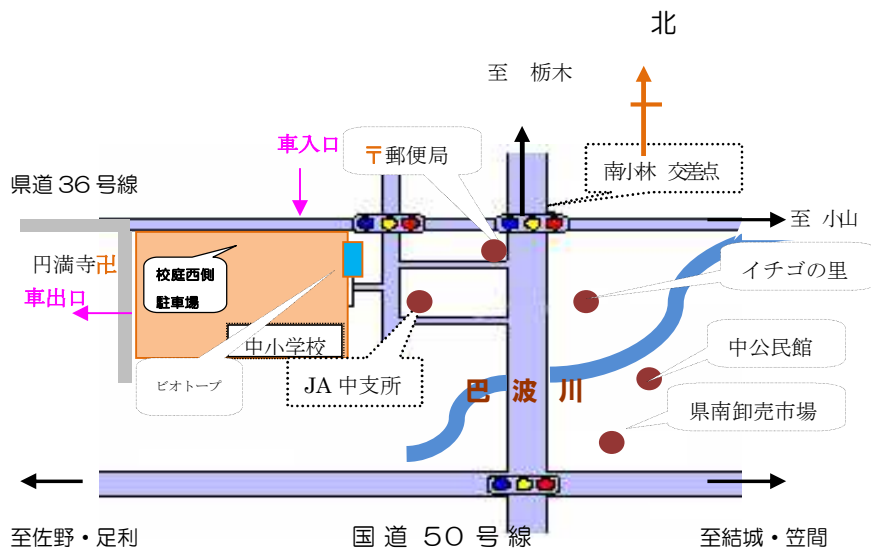
観る会

イベント 18:40~

19:30~21:00

観る会 19:30~21:00

皆さんお誘い合わせて観に来てください。



入口 (北側県道から)

・「観る会」のため午後7時~9時の間はなるべく車の出入りはしないようご協力ください。

・車は、西向き <ピオトープを背にして>駐車してください。

【ほたるは、明るさを嫌います。】

出口 (駐車場西側から)



夜店…前 PTA 役員・中地区育成会の方々・道の駅「美田の里」の方々の御協力により

くかき氷・フランクフルト・焼きそば・稲荷寿司

おにぎり・芋フライ>

… お楽しみに !

—うずまのほたる— 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・前田 秋子・荒井 淑恵  
松沼 由美・中見川洋子・立石麻紀子・田澤 均・島田 則子

# 「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」を支える方々

会長 森田 弘

副会長 ・大出 東壽 ・谷田部二三子  
・竹澤奈緒美 ・大森 利男

ボランティア <順不同>

- ・新井 幸男
- ・青木 新市
- ・神山 芳典
- ・玉野喜一郎
- ・藤野 貞和
- ・谷田貝 進
- ・小川 友一
- ・井岡 正三
- ・渡辺 光
- ・大橋新太郎
- ・五十畑覚一
- ・久保田 守
- ・石塚 寛治
- ・小川 唯雄
- ・渡邊 清治
- ・松沼 和雄
- ・古口 忠男
- ・前田 秋子
- ・立石麻紀子
- ・小暮 米作
- ・増田 博利
- ・諏訪 信栄
- ・熊倉 弘
- ・神山 和男
- ・塩田 忠男
- ・中見川一男
- ・小林 一大
- ・湯本 正義
- ・小川 三次
- ・中澤 成公
- ・増田 眞司
- ・須賀 秀吉
- ・大久保矩男
- ・荒川 一夫
- ・渡邊 敏雄
- ・田中 房雄
- ・塩田 正典
- ・中見川洋子
- ・田波耕太郎
- ・大出 昌男
- ・青山 敏光
- ・神山 宜久
- ・黒須 孝次
- ・神山 典夫
- ・古村泰次郎
- ・小林 正雄
- ・速見 勝夫
- ・松本 生男
- ・荒川 栄
- ・荒川 廣一
- ・神山 隆
- ・柏崎 暁
- ・玉野 一雄
- ・須賀 久夫
- ・荒井 淑恵
- ・松沼 由美

事務局 田澤 均 島田 則子

＝編集後記＝

「うずまのほたる」第21号発行にあたり多くのご協力をいただき感謝いたします。

今年もたくさんの方々がほたるが飛び交うことを願っています。